



「挑戦する」ことに挑戦

みなさん、放課後はどのように過ごしていますか？電気科では資格試験対策として、放課後補習を随時実施しています。自主性を重んじる放課後は、生徒のみなさんを大きく成長させる貴重な時間だと実感しています。今回は担当している「第二種電気工事士」試験対策補習を紹介します。

今年度は以下のような「ルール」で活動しています。複数の人が集まって一緒に活動するためには一定のルールが必要です。担当者がルールの大枠を設定、より良い活動をするためにみんなで考え、微調整を行います。

- 毎日、放課後1時間（講義は30分以内）。居残り禁止。
- 過去問学習・分析を補習の柱とする。
- 受験、補習は強制しない。が、学びの環境整備は最大限行う。



教えたい、合格させたい、遠回りさせたくないと考えてしまう教師側からすると、上記のルールは辛抱を要します。

生徒個々の選択にゆだね、自主性を尊重しながら結果を出すことは容易ではありません。しかし、資格試験に「挑戦することに挑戦」することを、自ら選択することに大きな意味があると考えています。

また、この挑戦は適度な負荷（ストレス）と言えます。適度なストレスは心に刺激を与え、“学びたい”の大きな動機となり、成長へとつながります。つまり、「自ら選択し、挑戦した」という事実が貴重な経験、糧（かて）となるのです。さあ、今年度も一緒に頑張りましょう。



行事予定 24日(土)～26日(月)：県高校総体
27日(火)～28日(水)：振替日
29日(木)：歯科検診（1年生）
30日(金)：色覚検査（3年希望者）、防災避難訓練

